平成27年7月20日発行（毎月20日発行）通巻690号

ほすぴたる

No.690
平成27年7月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

会員広報	第３回定時会員総会	公益社団法人福岡県病院協会事務局	1
病院管理	“食べる”を通じた栄養・リハビリ・認知症の多職種による地域連携を目指して	公立学校共済組合九州中央病院 リハビリテーション科 部長 竹迫 仁則	5
	事務部長就任のご挨拶	福岡市立病院機構福岡市民病院 事務部長 石田 慶治	9
	感染を制御するための活動	福岡市立病院機構福岡市民病院 感染症内科科長 長崎 洋司	10
	病棟薬剤師を担当して	福岡市立病院機構福岡市民病院 薬剤部 原 陽子	12
	福岡県看護協会通常総会を終えて	公益社団法人福岡県看護協会 常任理事 黒岩 悦子	14
看護の窓	看護部奮闘記：魅力ある職場づくり	北九州市立医療センター 中央手術部 看護師長 片島万里枝	16
各種委員会の紹介 No.2	福岡県病院協会看護委員会の活動について	看護委員会 副委員長 （公立学校共済組合九州中央病院 看護部長） 原田喜代子	19
Essay	アルファベットと遊ぶ	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師 安田 宏一	21
Letter	神話の心理学	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 学校長 朔 元則	22
■福精協の広場 『山登りの楽しさ』		医療法人成晴会 堤病院 事務長 佐藤 正典	25
■福岡県私設病院協会 平成27年５月福岡県私設病院協会の動き			26
■福岡県病院協会だより			27
■編集後記		岡嶋泰一郎	39

Teleradiology Service.
and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。

Teleradiology
～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service
～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24－1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル：0120-270614　FAX：092-533-8867
ホームページアドレス http://www.nmed-center.co.jp/

医院開業のご相談 相談は無料!!
お待ちしております

（福岡地区・北九州地区・南九州地区・中四国地区）

事業計画書作成／開業資金／土地（賃貸ビル・建て貸し含む）／診療圏調査／設計／施工／医療器械／リース／調剤薬局／スタッフ／その他開業に必要な什器物品／医療専門会計士

地区担当者と各分野のメディカル専門担当者が対応致します。信頼できるパートナーです。

ドクターの皆様へ！ **団体所得補償保険制度（休業補償保険）—団体割引**

1 ワイドにガード　国内、海外、業務中、業務外での病気・ケガによる休業、天災、自宅療養をワイドに補償！24 時間いつでもサポート!!

2 長期にわたり安心　1 年間は「基本コース」で補償、長期の場合も「新ロングコース」で最長 70 歳まで。（就業障害開始時の年齢が 65 ～ 69 歳の方は最長 5 年間補償）

3 手続き簡単　加入時の医師の診断不要。いつでも加入できます。

4 自動継続　更新時には、加入内容等、特にお申し出がなければ自動的に継続がされます。

5 団体割引　加入団体によって最大 51%割引。

★お問い合わせ先／M.S メディカル㈱　〒 810-0044 福岡市中央区六本松 3－1－58 リード桜坂 1F
URL:http://www.msmedical.co.jp
E-mail:msmedical@chime.ocn.ne.jp
Tel 092－722－0498　Fax 092－722－0525

会員広報

福岡県病院協会
第3回定時会員総会

◎福岡県病院協会事務局

日　時　平成27年6月16日（火）
　　18時～
場　所　福岡県医師会館 6階 研修室3
出席者　当日出席者　　25名
　　委任状提出者　170名
　　計195名（総会員数253名中）

■開会宣言

上野道雄専務理事は、第3回定時会員総会開会を宣言。

■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、定款第22条による定足数は総会員数253名の過半数127名であり、出席者は委任状提出者を含めて195名で定足数を超えており、総会は適法に成立する旨を宣言。

■会長挨拶

石橋達朗会長挨拶

■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、国家公務員共済組合連合会浜の町病院一宮仁院長と医療法人相生会宮田病院中山眞一院長を選出。

■議案審議（岡嶋議長）

○第1号議案「平成26年度事業報告について」
上野専務理事から概ね次のように報告された。

Ⅰ　総務関係 ～ 会員数について

平成26年度は、入会者は4会員、退会者は3会員であり、この結果、同年度末の会員数は253会員である。

Ⅱ　総会の開催状況

1　第2回 定時会員総会
期　日　平成26年5月27日
場　所　福岡市博多区博多駅前三丁目3番3号
ANAクラウンプラザホテル
議案等　次の議案について原案どおり承認された。
⑴ 平成25年度事業報告について
⑵ 平成25年度収支決算について
会計監査報告
⑶ 役員改選について
⑷ 顧問の委嘱について

2　平成26年度 臨時会員総会
期　日　平成27年3月24日
場　所　福岡市博多区吉塚本町13番1号
福岡市民病院 講堂
議案等　⑴については一部修正を前提に、⑵については原案どおり承認された。
⑴ 平成27年度福岡県病院協会事業計画書（案）
⑵ 平成27年度福岡県病院協会収支予算書（案）

Ⅲ　理事会について

8月と11月を除き、毎月理事会を開催し、会務の執行に当たった。（詳細は議案書に記載のとおり）

Ⅳ　「ほすぴたる」関係

11月を除き、毎月編集委員会を開催し、No.675（平成26年4月号）からNo.686（平成27年3月号）まで「ほすぴたる」を発刊した。

Ⅴ　研修会・県民公開医療シンポジウム関係

1 各種委員会の開催状況

看護委員会（第1回 H26.4.25、第2回 H27.1.28）、経営管理委員会（第1回 H26.7.24、第2回 H26.8.11、第3回 H27.2.12）、栄養管理委員会（第1回 H26.4.30、第2回 H26.11.12、第3回 H27.3.11）、臨床検査委員会（H26.10.7）、医療事務委員会（H26.6.26）、リハビリテーション委員会（第1回 H26.7.28、第2回 H27.1.15）、病院委員会（H26.11.11）、第8回県民公開医療シンポジウム企画委員

2　各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

月別	研　修　会　名	開催期日	会　　場	参加者数
6月	第49回 診療情報管理研究研修会	26.6.4	九州大学医学部百年講堂	198名
	第138回 看護研修会	26.6.24	ナースプラザ福岡	615名
8月	第139回 看護研修会	26.8.6	ナースプラザ福岡	259名
	第63回 栄養管理研修会	26.8.30	九州大学医学部百年講堂	321名
9月	平成26年度 第1回 経営管理研究会	26.9.26	福岡県医師会館	247名
10月	第140回 看護研修会	26.10.20	ナースプラザ福岡	338名
11月	平成26年度 第1回リハビリテーション研修会	26.11.1	福岡県教育会館	345名
	第50回 診療情報管理研究研修会	26.11.26	ナースプラザ福岡	221名
12月	第141回 看護研修会	26.12.5	ナースプラザ福岡	124名
2月	平成26年度 病院研修会	27.2.16	福岡県医師会館	273名
	平成26年度 病院システム管理研修会	27.2.21	九州大学医学部百年講堂	60名
3月	第114回 医療事務研究会	27.3.18	九州大学医学部百年講堂	273名
	平成26年度 第2回リハビリテーション研修会	27.3.28	九州大学医学部百年講堂	344名
9月	第8回 県民公開医療シンポジウム	26.9.4	エルガーラホール	264名

会（第2回 H26.6.26）を延べ14回開催し、各研修会の企画立案等について協議した。

Ⅵ　その他の事項（主なもの）

1　カネミ倉庫株式会社代表取締役から契約更新願いがあった「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を平成26年12月20日付けで1年間更新した。

2　平成27年1月23日、ホテル日航福岡において当協会の主催により、第20回四県（岡山、広島、山口、福岡）病院協会連絡協議会が開催された。

　岡山、広島、山口県から会長をはじめ14名、また、大分県、長崎県からも4名のオブザーバー出席があり、当協会役員12名の出席のもと事業の実施状況や各県提案の議題について活発な意見交換が行われた。

3　平成27年3月24日、福岡市民病院講堂において、平成２６年度臨時会員総会終了後に、聖マリア病院医療情報科診療部長荒木昭輝先生により「アザレアネットについて」を演題として、また、福岡県医師会副会長・福岡東医療センター院長・当協会上野専務理事により「とびうめネットについて」を演題として、福岡県における診療情報ネットワークについての講演会が開催された。

○第2号議案「平成26年度収支決算について」

会計監査報告

Ⅰ　平成26年度収支決算

平財務理事補佐から収支決算について概要説明があり、審議の結果原案どおり承認された。「貸借対照表」及び「平成26年度正味財産増減計算書内訳表」は、下表のとおりである。

貸借対照表

（平成27年3月31日現在）　（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金	3,429,952	2,850,418	579,534
普通預金	3,429,850	2,850,318	579,532
郵便振替	102	100	2
未収会費	300,000	250,000	50,000
未収金	10,000	30,000	−20,000
前払金	4,104		4,104
流動資産合計	3,744,056	3,130,418	613,638
2　固定資産			
(1) 基本財産			
(2) その他固定資産			
退職給与積立金	5,540,000	5,340,000	200,000
財政調整積立金	10,000,000	10,000,000	0
その他固定資産合計	15,540,000	15,340,000	200,000
固定資産合計	15,540,000	15,340,000	200,000
資産部合計	19,284,056	18,470,418	813,638
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
仮受金		452,170	−452,170
未払金	608,296	510	607,786
前受金	443,300	565,500	−122,200
預り金	306,267	300,051	6,216
流動負債合計	1,357,863	1,318,231	39,632
2　固定負債			
負債の部合計	1,357,863	1,318,231	39,632
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
2　一般正味財産	17,926,193	17,152,187	774,006
正味財産の部合計	17,926,193	17,152,187	774,006
負債及び正味財産合計	19,284,056	18,470,418	813,638

正味財産増減計算書内訳表

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで　　（単位：円）

科目名	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	合計
	シンポジウム	研修	共通	小計	機関紙	研究会	小計		
Ⅰ 一般正味財産増減の部									
1 経常収益									
(1) 経常収益									
特定資産運用益			20,500	20,500					20,500
受取入会金			15,000	15,000				15,000	30,000
受取会費			6,268,700	6,268,700				6,268,700	12,537,400
事業収益	810,000	10,117,500		10,927,500	1,657,600	1,707,000	3,364,600		14,292,100
受取補助金等	625,000	1,925,000		2,550,000	2,888,000	722,000	3,610,000		6,160,000
雑収益		6,000	20,500	26,500				5,608	32,108
経常収益計	1,435,000	12,048,500	6,324,700	19,808,200	4,545,600	2,429,000	6,974,600	6,289,308	33,072,108
(2) 経常費用									
事業費	3,478,690	15,791,814		19,270,504	5,307,327	1,777,021	7,084,348		26,354,852
管理費								5,893,250	5,893,250
経常費用計	3,478,690	15,791,814		19,270,504	5,307,327	1,777,021	7,084,348	5,893,250	32,248,102
当期計上増減額	−2,043,690	−3,743,314	6,324,700	537,696	−761,727	651,979	−109,748	396,058	824,006
2 経常外増減の部									
税引前当期一般正味財産増減額	−2,043,690	−3,743,314	6,324,700	537,696	−761,727	651,979	−109,748	396,058	824,006
法人勢、住民税及び事業税								50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	−2,043,690	−3,743,314	6,324,700	537,696	−761,727	651,979	−109,748	346,058	774,006
一般正味財産期首残高	−2,045,742	−212,529	6,332,000	4,073,729	−4,049,478	1,986,814	−2,062,664	15,141,122	17,152,187
一般正味財産期末残高	−4,089,432	−3,955,843	12,656,700	4,611,425	−4,811,205	2,638,793	−2,172,412	15,487,180	17,926,193
Ⅱ 指定正味財産増減高									
Ⅲ 正味財産期末残高	−4,089,432	−3,955,843	12,656,700	4,611,425	−4,811,205	2,638,793	−2,172,412	15,487,180	17,926,193

以上、第 1 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

Ⅱ　平成 26 年度収支決算に係る会計監査報告

福重監事から報告

平成 26 年度の会計については、収支決算書のとおり適正に処理されている旨報告された。

以上、第 2 号議案については、全員の拍手をもって承認された。

○第 3 号議案「会費等に関する定款施行規則の一部改正について」

専務理事は、公益法人に法律上課される財務 3 基準のうちの「収支相償」（公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 6 号及び第 14 条、「公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施に要する費用を賄う額を超えてはならない」というもの）が、平成 26 年度の決算に関して満たされていない。会費等の使途について特に規定が設けられていないのも一因であり、そこで、会費等の使途として「第 4 条　前 2 条に規定する入会金及び会費は、一事業年度における合計額の 3 割以上を当該年度の公益目的事業のために使用するものとし、残余はその他の事業及び管理費用のために使用するものとする。」旨を定め、収支がほぼ均衡するようにその割合を増減させて対応したいとする旨の説明とともに、今後の公益法人の運営に必要な改正である旨を述べられ、会員総会の承認を求めた。

議長は、議場に諮ったところ特に意見等はなく、第 3 号議案は全員の拍手により承認可決された。

○第 4 号議案「参与の委嘱について」

専務理事は、まず事前に送付した議案書の内容に変更があったため、その差替えを求められた。続いて専務理事は、前回委嘱された参与は 6 月末をもって 2 年の任期が満了することから再委嘱を行うものであり、下表のとおり、新任の委嘱予定者は、福岡県歯科医師会 副会長の山本達雄氏、福岡県薬剤師会 副会長の有馬千代子氏及び西日本シティ銀行 法人ソリューション部長の鳴山一仁氏であり、それ以外の 6 名は再任である旨を説明し、会員総会の承認を求めた。

議長は、議場に諮ったところ特に意見等はなく、第 4 号議案は全員の拍手をもって承認可決された。

委嘱する参与（委嘱期間：平成 27 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

団 体 名	役 職 名	氏　名	備　考
福岡県医師会	会長	松田　峻一良	再任
福岡県歯科医師会	副会長	山本　達雄	新任
福岡県看護協会	会長	花岡　夏子	再任
福岡県薬剤師会	副会長	有馬　千代子	新任
福岡銀行	公務金融法人部長	有田　徹也	再任
西日本シティ銀行	法人ソリューション部長	鳴山　一仁	新任
福岡県弁護士会	弁護士	堺　祥子	再任
日本公認会計士協会北部九州会	公認会計士	中西　裕二	再任
西日本新聞社	報道センター 総合デスク	田川　大介	再任

■議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

■総会終了

専務理事から、議長に対する謝辞と閉会が述べられ、第 3 回定時会員総会は滞りなく終了した。

第143回看護研修会のご案内

テ ー マ　「ＰＮＳ（パートナーシップ・ナーシングシステム）パートⅣ」

開 催 日　平成27年８月７日（金）９：20～15：00

場　　所　九州大学医学部百年講堂１Ｆ「大ホール」
福岡市東区馬出３丁目１－１

参 加 料　会 員 病 院　1人につき　3,500円
会員外病院　1人につき　5,000円

Ⅰ基調講演

「新看護方式ＰＮＳの導入と定着に至るまで」
産業医科大学若松病院 看護副部長　安東 睦子

Ⅱシンポジウム「PNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）実践報告」

「PNS 導入におけるリーダーへの動機づけと価値観形成の仕組みづくりの経過報告」
福岡大学筑紫病院 副看護部長　福本 洋美
福岡大学筑紫病院 看護師長（集中ケアセンター）　久保伸子

「デイパートナーからはじめる PNS への取り組み」
公立八女総合病院 PNS プロジェクトリーダー　佐伯 佐知子

＊お問合せは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。

“食べる”を通じた栄養・リハビリ・認知症の多職種による地域連携を目指して

公立学校共済組合 九州中央病院
リハビリテーション科　部長
竹迫 仁則

超高齢化の波は当院にも確実に押し寄せており、入院患者の高齢化が急速に進んでいる。8年前には60歳以上の入院患者は全体の50%程度であったが、昨年度は約75%を占めるまでに至った。特に80歳以上の高齢者の増加は著しく、100歳以上の方も珍しくはなくなっている。

高齢者の医療・介護においてしばしば問題になるのは低栄養であり、入院患者の約4割、在宅の高齢者の約3割は低栄養という報告もある。摂食嚥下障害を有する者も多く、繰り返す誤嚥性肺炎やさらなる低栄養のため予後不良に陥るだけでなく、医療機関側は在院日数や医療コスト面で多大な影響を受けている。もう一つの問題は認知症である。認知症あるいは認知症予備群の入院患者も確実に増加しており、入院による認知症症状の増悪のため治療に難渋することも少なくない。低栄養、摂食嚥下障害や認知症を有する高齢者は、一旦急性疾患や手術等による侵襲が加わると、栄養状態や嚥下障害がさらに悪化し、認知症症状が増悪し、ADLが低下し、経口摂取不能や寝たきりに至るという負のスパイラルに容易に陥る。一旦大きく負の方向へ進むとそこからの回復は困難であるため、医療・介護機関には予防的視点に立った取り組みが必要となる。つまり、在宅・施設における栄養や認知症の対策、入院になった場合は早期からの徹底した栄養管理、摂食嚥下訓練を含めた積極的なリハビリテーションや認知症症状の増悪を防ぐための対策が適切に行われることが、このような高齢者の健康寿命を延ばす鍵となる。

これに対し、各地方自治体には、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に地域包括ケアシステムを構築し対応していくことが「社会保障改革プログラム法」の中で義務付けられ、それに向けた準備が進められている。しかし、いまだに現場にはしっかりとした青写真が見えないだけでなく、キーとなる医療と介護のシームレスな連携にはほど遠い現状にある。

こういった社会状況を見据え、我々は、安全な経口摂取の維持あるいは再獲得、誤嚥性肺炎の再燃の防止、それによるQOLの向上を目的に、2014年1月より入院患者全員を対象とした摂食機能療法の取り組みを行っている。さらに、その活動の延長として、医療と介護の連携における共通のテーマの一つである“食べる”ということを焦点に、高齢者の医療や生活支援を行うための多種職による地域連携を構築する目的で、2015年3月にSMILEネットワーク（Seamless MedIcal care and Life support for the Elderly）を立ち上げた。

① 全入院患者を対象とした摂食機能療法

多くの急性期病院における摂食機能療法チームの介入の多くは、単科におけるものあるいは嚥下障害があると判断した主治医等から摂食機能療法チームへの依頼により開始になるものである。その場合，嚥下障害を有する患者が見逃

されやすいだけでなく、早期に適切に介入していれば経口摂取が望める患者に対する介入の開始時期が遅れる可能性が高くなる。そのため、我々は入院患者全員を対象に入院早期に嚥下のスクリーニングを行い、嚥下障害を有する患者を抽出して、摂食機能療法を行う積極的なアプローチを試みている。

入院患者全員を対象に、入院早期に病棟看護師や栄養士等で嚥下障害の有無の簡単なスクリーニングを行う。嚥下障害が疑われた場合、医師・歯科医師・看護師・言語聴覚士・栄養士で構成される摂食機能療法チームで嚥下状態の評価を行い、摂食機能療法の適応の可否を判断する。適応症例には実施計画書を作成し、計画書に沿って看護師や言語聴覚士による摂食機能訓練を実施する。具体的には、姿勢の調整、顔面・頸部のマッサージ、アイスマッサージや嚥下体操、食事の介助や口腔ケアを1日30分以上行う。また、看護師のスキルアップのため、口腔ケアと嚥下訓練マニュアルの作成、アイスマッサージ手技の強化やオンデマンドによる口腔ケア・嚥下訓練の教育を行う。週に1回のチーム回診において対象患者を評価し、訓練方法・方針を修正する。必要に応じ、嚥下内視鏡や嚥下造影検査を行い、評価の参考にする。以上のようなシステムを2014年1月に立ち上げた。

2014年1月から12月までの1年間で、簡易スクリーニングにより検出された患者数は528名となった（図1）。これは同期間の入院患者総数の約6%に相当した。このうち、嚥下評価で摂食嚥下機能に問題のあった398名に摂食嚥下療法を行った。89%は70歳以上であった。入院の原因疾患のうち、誤嚥性肺炎を含めた肺炎が全体の約4割を占め、続いて脳卒中、骨折、心不全などの循環器疾患の順となった。脳卒中が多いのは当然のことではあるが、むしろ加齢や低栄養等に伴うサルコペニアによると考えら

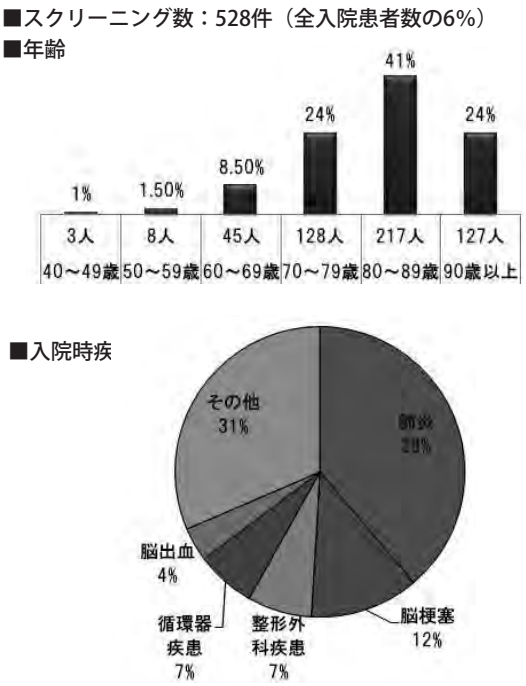


図1　摂食機能訓練活動結果（2014年1月～12月）

れる症例が多数みられた。そういった症例には、摂食機能訓練だけではなく、栄養サポートチーム（NST）の介入による適切な栄養管理もしばしば必要であった。介入開始時、41%の患者で禁食であったが、中には不要と思われる禁食指示もあった。一方、安易な食事の指示のために窒息や誤嚥が危惧される症例も少なからずみられた。できる限り不要な禁食指示や長期間になりがちな禁食期間を減らすとともに、安全な経口摂取が確保できることを短期的な目標にアプローチを行った。病状の問題で最後まで改善困難な症例もあったが、退院・終了時には

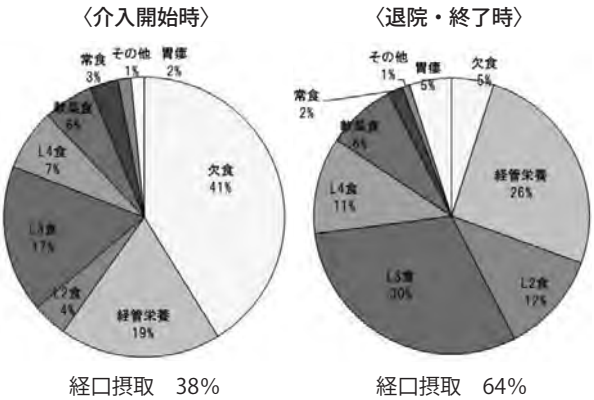


図2　摂食機能訓練　介入開始時と退院時の食形態

禁食は5%まで減少し、経口摂取が可能な患者の割合は38%から64%まで増加するなど多くの症例で適切な栄養手段の獲得が可能となったことからも、摂食機能療法は一定の効果があったものと思われる（図2）。

② SMILEネットワーク（Seamless MedIcal care and Life support for the Elderly）

摂食機能療法の活動を行う中での大きな問題の1つが継続性である．急性期病院の在院日数は短く、実際に訓練対象患者のおよそ8割は後方の病院や介護施設への退院となった。その際、嚥下調整食や訓練内容について各施設の事情に応じた対応をお願いすることになるが、これがなかなか簡単ではない。自宅への退院の場合には、家族だけでなく、ケアマネージャーや訪問・通所サービス先との調整も必要となり、さらに多大な労力を要す。このような状況の中、今後地域連携を構築する上で各施設の食事に関する実態を把握する必要があると考え、平成26年12月に各医療介護施設にアンケート調査を行った（94施設の内, 64施設の回答あり、回答率68.1%）。摂食嚥下対応の食事の有無と種類に関する質問では、79%の施設に嚥下対応食があり(21%の施設はわからないとの返答)、その種類数は1～8種と様々な結果であった(図3)。嚥下調整食の名称としては、ミキサー食、ソフト食や刻み食が多かったが、その食形態の基準として、嚥下ピラミッドや摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類等を用いている施設は全体の45%であった(図4)。さらに、嚥下調整食の形態レベルは同じ名称でも各施設間で学会分類コードにおける2～3段階のばらつきがあった。つまり、病院において患者個々に嚥下調整食を厳密に設定しても、その後に同様の形態で継続されることは極めてむずかしいことが明らかになった。今後は各施設での嚥下調整食のレベルがおおよそ把握できる共通言語の利用が必要と考える。

第2の問題は、栄養や嚥下状態に関する情報が各施設や在宅で共有化されていない点である。入院になった時点で、これまでの食事の摂取状況、栄養状態の推移や嚥下状態に関する情報を得ることが難しいことも多い。また、当院におけるこれらの情報が転院先施設や在宅において実際に生かされるのかどうかもわからない。これらを解決するために、栄養・嚥下状態

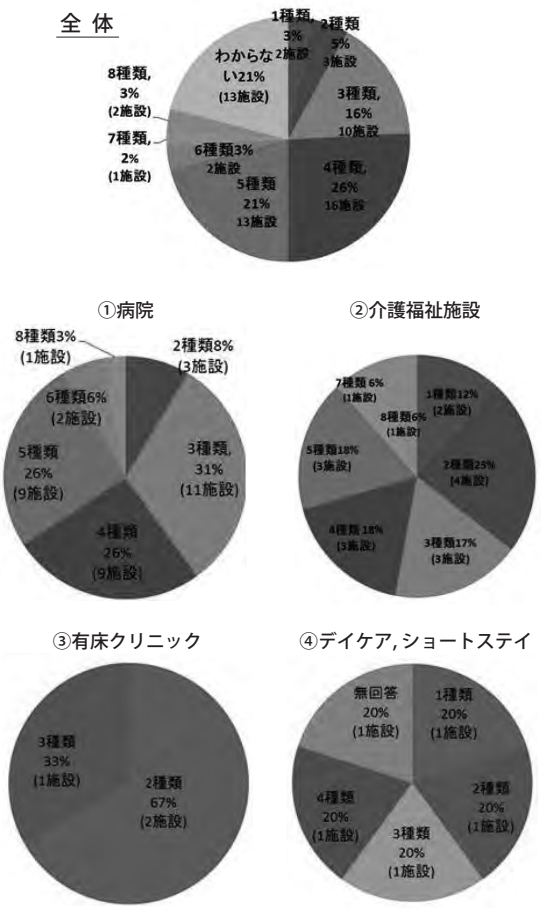


図3　嚥下対応食の種類について

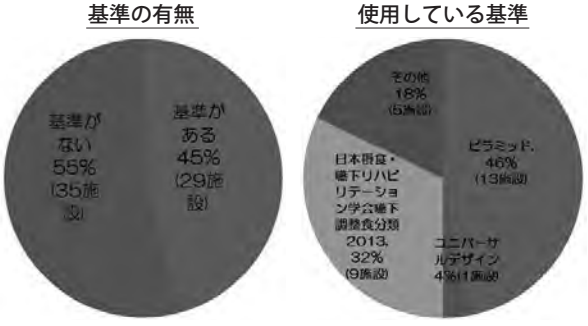
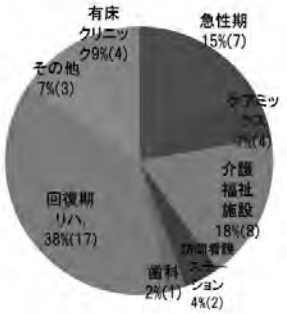


図4　嚥下対応食の食形態の基準について

の継時的変化が把握できる連絡票・ノートの活用を通じて情報の共有化を図るのも一つの手段ではないかと考えている。また、刻々変化していく栄養状態や嚥下機能についての相談窓口が地域にほとんどない状況であり、今後、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査が施行可能な医療施設を中心に相談窓口を設定することも必要である。当院は摂食嚥下・NST 外来を平成 27 年 5 月に設置した。

SMILE ネットワークの第 1 回研修会を、平成 27 年 3 月 13 日当院にて開催した（図 5）。急性期病院、リハビリテーション病院、介護福祉施設、歯科医院、訪問看護ステーションなどの 40 施設から、医師、歯科医師、看護師、栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士など計 133 名の参加があり、高齢者の栄養・食事の管理に対する関心の高さ、社会的ニーズの高まりを実感した。現在、我々は訓練対象患者のその後の様子、生活の場における問題点や介護現場の実情を理解する目的で、各介護施設の見学を行っている。医療側（特に急性期）が介護の現場をあまりに理解していないこと、施設により食事の対応に大きな差があること、環境により食事摂取や嚥下の状態は大きく変化することや、安全な食事を摂ることが必ずしも本人の QOL を高めるわけではないこと（安全性と危険性をてんびんにかけて慎重に検討する必要性）を痛感している。医療と介護のシームレスな連携には、相互理解、顔の見える関係づくりが重要であり、今後も継続して行う予定である。

九州中央病院 新病棟外来ラウンジにて（平成27年3月13日）



参 加 者：外部　133名
内部　30名
計　163名

参加施設：40施設

図5　第 1 回SMILEネットワーク研修会

こういった活動にはファシリテーターが必要であり、急性期病院である当院がそれにふさわしい立場かどうかはわからない。しかしながら、地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、そのキーとなる医療と介護の連携を現場から作り上げたいという意図で、地域支援病院である当院が今回手を挙げさせてもらった。人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができる社会の実現の一助となるべく、医師会、歯科医師会、栄養士会、薬剤師会、行政等との連携を行いながら、実効性のある地域連携を構築していく覚悟である。

事務部長就任のご挨拶

福岡市立病院機構 福岡市民病院
事務部長
石田 慶治

この度、平成27年4月1日付で、福岡市民病院の事務部長を拝命いたしました石田慶治（いしだけいじ）と申します。福岡市立こども病院から異動して参りました。

微力ではございますが全力を尽くす所存であります。ご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

私が勤務いたします福岡市民病院は、昭和初期に福岡県2町共同運営の組合立伝染病院として発足し、その後幾度かの経緯を得て1989年に「福岡市民病院」として現在地に移転いたしました。更に、2010年に地方独立行政法人へと運営形態を変更しております。この間一貫して市民の健康維持・回復を担う市立病院としての役割を発揮してまいりましたが、現在は高度急性期医療を担う地域における中核的病院へと変化しております。併せて地域医療支援病院として地域医療機関や介護・福祉施設と密接な連携を進め、市民の医療ニーズに総合的に対応させていただいております。

現在、医療機関を取り巻く状況は、厳しい経営環境が続いておりますが、医療に対するニーズはますます高度化・多様化する傾向にあります。

高齢化や疾病構造の変化が進展する中で、住み慣れた地域において適切な医療を受けたいとする患者さんも増えております。そのため、急性期から回復期、慢性期及び在宅療養への移行など、円滑な医療サービスの提供が求められております。

私どもが目指す病院像は、「この地域に必要とされる病院」を目指していかなければなりません。そのための柱の1つとして、病院協会会員の皆様と更なる連携を強める事にあると考えております。

当院の基本方針として、⑴患者本位の医療を提供します。⑵安全管理を徹底して行います。⑶高度救急・高度専門医療を提供します。⑷公的病院としての役割を果たします。⑸地域医療連携の充実を図ります。⑹健全経営に努めます。を掲げ、救急医療を含めた地域完結型の医療ができること。感染症対策及び災害対策など、この地域での市立病院としての役割を、遂行できること等と考えております。

先般、総務省から病院事業を設置している地方公共団体に対し、平成27年3月31日付で、「公立病院改革の推進について」として、「新公立病院改革ガイドライン」の通知がありました。

従来の公立病院改革の視点、「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」に加え、「地域医療構想を踏まえた他の医療機関との役割の明確化」を加えた4つの視点で、数値目標などを定めるよう示されております。

地域医療構想を踏まえた公立病院の機能明確化については、他の医療機関等との役割分担、連携をどのように行っていくのか、また地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割も求められており、その中で在宅医療や住民の健康づくりの強化、地域で働く人材育成などに関する事項などもガイドラインによって求められており、当院として、今後いかに取り組んで

行くかが、大きな課題となっております。

当院の建物は建築後 26 年以上を経過し、経年劣化による不具合も生じております。

また、建築時には予測できなかった近年の医療上の要請への対応が必ずしも容易ではないことなど、様々な制約はありますが、課題のひとつひとつに知恵を絞って取り組みながら、今後、地域の医療機関の皆様と、より積極的なコミュニケーションの向上をお願いしたいと考えております。

当院に関してお気づきの点について、皆様の率直なご指摘、ご意見をお聞かせいただくことができましたら、地域の一員としてこれに勝る喜びはございません。

改めまして、福岡市民病院をよろしくお願い申し上げます。

病院管理

感染を制御するための活動

福岡市立病院機構 福岡市民病院
感染症内科 科長
長崎 洋司

当科は 2015 年 4 月に開設され、2 名の医師で診療を行っております。

ひとことで感染症と申しましても、病原性微生物には様々な種類（細菌、ウイルス、真菌、寄生虫など）があります。感染症に罹らないために大切なことはその予防策で、すなわち患者様や職員を各種ウイルス疾患や耐性菌から守ることです。次に、診断への近道は病歴聴取や診察が非常に大切で、さらに治療が必要な場合には、『どの臓器に』、『どのような病原微生物が感染し』、『どのような治療を行うべきか』、など治療戦略を立てて行うことが患者様の回復に繋がると考えております。

具体的な活動内容

❶ ICT (Infection Control Team) 活動

多職種（感染症内科医、感染管理認定看護師、細菌検査技師、薬剤師、事務など）で構成されたチームで院内の感染対策の状況確認や問題点の指摘および解決策を提案し、毎週ラウンドを実施しています。耐性菌が検出された患者様に関しては病室まで出向き、感染対策が遵守されているか一人ひとり確認しています。また、薬剤耐性菌の発生抑止のために抗菌薬の使用状況も管理しています。具体的には広域抗菌薬の不適切な使用、長期使用などピックアップし、その都度主治医と話し合い治療の適正化を行っています。

また、院内の活動だけではなく地域の医療施設と共通の感染対策を講じるために当院で合同カンファレンスを行い（4 回 / 年）、また病院間での感染管理の相互確認なども行っており、地域全体で情報共有を行うことで感染対策のレベルアップに努めています。

❷ 第二種感染症指定医療機関

当院は2014年10月に第二種感染症指定医療機関となり、結核を除く2類感染症患者様の受け入れ機関となりました。特にここ最近では2012年9月に中東で発生したMERSが韓国で流行しています。原因として① Doctor shopping、② 初期の感染対策の失敗、③ 国民性の問題(多くの家族あるいは友人の見舞い)、などが考えられています。幸いなことに現段階ではMERS-CoVの遺伝子変異は否定的と考えられていますが、この状況は決して対岸の火事として済まされる問題ではなく、いつ福岡で流行してもおかしくありません。水際での対策を検疫や保健所が懸命に行っていますが、当院もMERS患者の受け入れを想定して、実際の受け入れ訓練やマニュアルの整備など院内の体制を整えています。また、今後流行が拡大してきた場合に当院だけの問題ではなく、地域全体でMERS封じ込めを行う連携がとても重要なことと考えています。

＊二種感染症：急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸症候群（SARS)、中東呼吸器症候群（MERS)、鳥インフルエンザ（H7N9/H5N1）

❸ 感染症診療

院内の他診療科からの感染症に関するコンサルテーションを行っています。また、外来では熱が下がらないなどの症状や海外旅行から帰国後も発熱や下痢が続くなどの症状を認める方の診療を行っております。発熱しているから、CRPが高いから、ということで全てが感染症とは考えず、ひとつひとつ紐解いていくことが大切だと考えています。

❹ おわりに

昨年は69年ぶりに本邦で160名のデング熱感染者が発生しました。一方、西アフリカではエボラ出血熱が大流行し世界を震撼させ、福岡でも疑似症例が入院しました。また、ダニ媒介感染症である重症熱性血小板減少症候群(SFTS)も福岡で初めて患者が発生しました。そして、現在は前述したように隣国でMERSが猛威を奮っております。このように感染症はいつどこで発生するか予測が困難です。日頃から標準予防策を含めた感染対策を恒常的に行うことが重要です。今後も診療に関してはできるだけ柔軟かつ迅速に対応し、院内外でフットワーク軽く感染症診療を行って参りますのでどうぞよろしくお願いします。

病棟薬剤師を担当して

福岡市立病院機構 福岡市民病院　薬剤部
原　陽子

平成元年に福岡市民病院開院以来25年間薬剤師として、現在内科、循環器科での病棟業務を担当しています。今までの薬剤師は何処にいるの？誰がいるの？どんなことをやっているの？正面玄関にある一室で薬を袋詰めしている、いわゆる袋詰め師？……見えないものでした。病棟薬剤業務と呼ばれるようになった薬剤師の病棟常駐が始まり、自分ももう二年半がたちました。まだ常駐にして日は浅いです。それでとにかくこれは薬剤師の仕事と思ったら、積極的に責任を持ってやろうと心がけています。

たとえば持参薬鑑別、入院時患者が持ってくる持参薬を鑑別します。現在は患者の持ってくるお薬手帳の情報や薬を見れば名前が書いてあるし、錠剤の記号で誰でも簡単にわかります。薬剤師がこれを鑑別するだけでは、単なる作業ただの便利屋になってしまいます。持参薬を鑑別しながらその先にある患者の背景を考えなければいけません。

患者が薬を理解できているのか？ 患者に薬の効果があるのか？ 患者に薬はあっているのか？ 患者に中止の薬はないのか？患者の性格は？ 患者の家族は？

探れば探るほどさまざまな背景がでてきます。その一つに患者への薬の副作用の回避は病棟薬剤師の重要な業務です。

・アレルギー歴、副作用歴による処方提案。
・薬剤の相互作用による処方変更提案。
・副作用回避のための処方提案

これらの事を医師、看護師への薬剤情報提供する事によって、個人個人の患者にあった対応をしていただけます。それにより、患者が退院後も服用していただくことを見据えた薬剤指導ができます。薬剤師だからこそできるプロとして認められる役割です。

また病棟薬剤業務として糖尿病教室を担当しています。月に2回、火曜日の15時から15時45分まで「お薬について」の説明をしています。これにはずい分悩まされました。患者が薬を理解するには何をしたらいいのだろうか？自分は考えたあげくに、患者が薬の事を理解するよりもいかに薬に興味を持ってくれるかに重点をおきました。何度も教室をしていくうちに患者参加、つまり患者が中心、これが一番大事という事がわかりました。

○○さん食直前とは食事の何分前でしょうか？

××さんインスリンは怖いですか？

患者に問いかけて話をしていただく。このなにげない問いかけをきっかけに話にぐいぐい入りこんでこられます。そして患者の笑顔を共有する。するとこの教室は成功です。

たった45分間ですべての患者がすべての薬を理解する事は絶対無理です。

その人の性格を見極め、その人の使用している薬に合わせ個人個人に問いかける教室を行っています。当たり前ですが毎回毎回できるのかと思うとまだ自信がありませんが、改めて心がけて行っていきたいと思いました。

毎週木曜日15時30分から内科外来で糖尿病

カンファレンスに参加しています。

医師、看護師、栄養士と薬剤師によるコラボカンファレンスです。このカンファレンスに出席するとずい分勉強になる事ばかりです。疑問点、教えてほしい事を直接聞く事ができます。薬剤師が一人にかかわる時間は限られていますが、ここで多量の患者の情報を習得できます。やはりチーム医療は大切ですね。皆様、協力的で助かっています。他部門のコミュニケーションも治療には重要なものだと見習わされます。

このように病棟薬剤師は薬の説明だけではなく、各階病棟の薬剤師がさまざまな活動を行っています。最後に患者から「薬剤師さんのおかげで薬を続けられます」「ありがとう」こんな一言がきけると大変やりがいを感じます。　薬剤師は機械から出る薬を入れる「袋詰め師」医師、看護師の手伝いをする「便利屋」いや違う！違います!!　それだけは避けたいと思います。ナースステーションで薬の疑問で話をしている時は、できるだけ顔を出すようにしています。たとえば、メトグルコはいつから中止するとか……薬剤師に聞けばすぐ情報を提供できる事があります。見える薬剤師から意見を言える薬剤師になるべきです。

今後、引き受けた仕事に薬剤師の専門性をいかすため、自分の意見を述べる事ができるプロとしての仕事をしていきます。

福岡県看護協会通常総会を終えて

公益社団法人 福岡県看護協会　常任理事
黒岩 悦子

平成 27 年度福岡県看護協会通常総会を 6 月 20 日（土）にアクロス福岡シンフォニーホールで開催しました。

開会のあいさつで花岡夏子会長は、「公益社団法人として 4 年目を迎え相応した組織として活動も定着してきている。また、平成 27 年度重点事業について昨年からの継続事業のほかに新たに“少子超高齢社会に対応する人材の育成”を加えた。2025 年問題に対応するために在宅分野で働く看護職の育成と確保は重要な課題である。急性期病院から在宅へと切れ目のないサービスを提供するために、退院調整看護師の育成等にも力を入れていく」と抱負を述べられました。

今年の式典には福岡県看護協会長表彰は 30 名の方が受賞され、表彰と副賞がおくられました。また、日本看護協会名誉会員 1 名と、日本看護協会会長表彰受賞者 8 名の方が紹介され、盛大な拍手でお祝いいたしました。

議事開始時の総会出席者は 1,285 名で、2 階まで会員でいっぱいでした。平成 26 年度の事業報告後議案も承認され、報告事項「平成 27 年度重点事業並びに事業計画」では、県看護協会の使命は「県民の健康な生活の実現」に寄与すること。そのために、「専門職業人としての看護の質向上」「働き続けられる環境づくり」「地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の推進を図る」ことを定め、“ナースセンター事業の強化と活用拡大”、“在宅ケア支援の強化と充実”、“教育研修の場の拡大”“教育の機会均等の推進”等 8 項目それぞれ具体的な計画内容を説明されました。総会における質疑・要望の内容は今年も準看護師養成廃止、看護資格の一本化に伴うもの等でした。

今回の総会を終えて思うことは、会員は看護資格の一本化を望んでいることを強く感じています。日本看護協会並びに福岡県看護協会も基本的に准看護師養成廃止、看護資格の一本化を目指しております。福岡県には看護大学 13 校をはじめ看護師養成校も多いのですが、准看護師養成校も県内に 16 校あります。埼玉県が准看護師養成校を看護師養成校に変更しましたので、全国 1 位になりました。しかし、準看護師は各年齢層において看護師よりも月約 6 万円の給与格差があり、潜在率は看護師 26％であるのに対し、准看護師は 45％と非常に高い値を示しています。准看護師として働いている看護職員の調査等でニーズを把握し、働き続けられる環境を支援していく必要性を感じているところです。

また、准看護師を含む潜在看護職員数は、約 71 万人と推計され、潜在看護職員など看護師等免許保持者を把握しライフサイクルを通じて、適切なタイミングでの復職研修や職業紹介など必要な支援を行うことが早急に必要になっています。国では、平成 26 年 6 月医療介護総合確保推進法における「改正看護師等確保推進法」が制定され、看護師等の免許保持者に対して、離職時等の届出の努力義務化が平成 27 年

10月から施行されます。このため、福岡県ナースセンターでは、前倒しで平成27年1月から開始しております。また、ナースセンター本所を改築し、相談しやすい環境整備、また、27年3月に福岡地区（福岡大学病院内）と北九州地区（北九州市立医療センター）にサテライト2か所を開設しました。就労相談支援員を配置し離職後、看護職員資格保持者の要望に応じた情報提供や復職支援相談また、病院、診療所、医院等を巡回しきめ細やかな対応を行い円滑な復職に繋がるように支援しています。また、今後とも、届出制度の周知を図り離職時に適切なタイミングでの復職研修や職業紹介を行い求職者と求人者とのマッチングに努めたいと思っています。やむを得ず離職される看護師等免許保持者にナースセンターへの届出制度の広報や復職支援相談等を勧めていただければ幸いです。

最後に、7月1日に看護協会事業として念願でした“看護小規模多機能居宅介護 スピカ☆くるめ”を訪問看護ステーション「くるめ」に開所いたしました。これまでの小規模多機能では受入れの難しかった、医療依存度の高い人、退院直後で状態が不安定な人、在宅で看とりを希望する人の在宅療養を支援してまいります。ぜひ、スピカ☆くるめをご紹介していただければ幸いです。

今後とも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

看護の窓

看護部奮闘記：魅力ある職場づくり

北九州市立医療センター　中央手術部
看護師長　片島 万里枝

当院は、25診療科636床を有する一般急性期病院であり、地域医療支援病院として北九州医療圏の多くの医療機関と連携し、がん医療、産科医療、生活習慣病に対して医療を提供している。がん医療では、「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、内視鏡下手術をはじめとする最新の外科治療に加えて、放射線医療の充実、外来化学療法センターの開設など、緩和ケアを合わせてがんセンターとしての機能を整備している。

手術部における平成26年度の実績は14科、4050件であり、スタッフは私を含め38名、経験年数は、18年から新入職者と幅広く平均3.5年である。

各医療機関においては、看護師確保に向けた勤務環境の改善等について既に様々な主体的な取り組みが進められてきているが、手術部は病棟や外来とは異なり、新人看護師にとっては、多くの手術器械や術式の流れを覚えたりする部分で特殊であり、看護学校、病棟などで学んだ知識、技術をすぐに生かすことができず、リアリティショックを受けることがある。しかし、幸いにも手術部は過去3年間新人の離職率はゼロである。

私の夢でもある看護師という職業を選んだこと、看護できるという喜び・素晴らしさをスタッフにも感じて欲しいと思い取り組んでいる。

Ⅰ．職場づくり

“魅力ある職業”のための「職場づくり」に勤務環境の改善を図るため、① 看護業務の効率化、② 多様な働き方が可能な環境の整備の2つの視点を意識している。

看護業務の効率化については、各科多様な手術が行われている中、当手術部では術式に応じ器械出し、外回りとそれぞれ整備されたマニュアルを電子カルテ内に保存し、変更があれば直ちに修正し、日々最新の内容で利用できる体制をとっている。加えて指導者チェックリストを作成し、各術式に応じ指導する内容を統一し、どの看護師が担当しても格差が生じないよう努めている。

手術部では多種多様の器材管理が求められ、緊急手術であってもすぐに対応できるように管理している。その様な緊急時であっても働きやすい環境にする為に整理整頓を実行している。スタッフ自らアイディアを出し合い、器材管理を行っている。器材保管庫の規格にない棚は、スタッフ自ら手作りしたものもあり重宝している。

多様な働き方が可能な環境の整備について手術部は、日勤業務に加え、当直・待機・緊急手術による残りや呼び出しなどがある。一旦手術に入ると長い時は8時間近く緊張を強いられる。当院には医師、看護師、放射線技師、理学療法士などで結成している野球チームやフット

写真1　スタッフ手作りの棚

サルチームがある。練習試合にはスタッフと共に応援に駆け付けON・OFFの切り替えを上手に行っている。その為余暇時間を有効にできるようスタッフ全員で互いに協力している。

写真２　他職種合同チームでの野球の試合

Ⅱ. 人づくり

「人づくり」体系的な教育体制、整備を図っている。

手術看護認定看護師を中心に年間の教育計画を立案実践し、毎月教育会議と称して、教育係および各チームリーダーが集合し、各スタッフの進捗情報を共有するため報告会を開いている。スタッフの学習意欲が高まり、ついに長年念願としていたカンファレンスルームにスクリーンを設置することができた。手術看護認定看護師を中心とした周術期看護の学習会や２年目以降のスタッフに各テーマを与え学習報告会を実践するなど学ぶことで身近に感じられる環境になった。２年目以降のスタッフが発表する姿を見て成長を確認することができうれしく感じた。またスタッフ同士がお互いに切磋琢磨しながら手術看護に取り組む姿はとても頼もしく見える。

スタッフ全員が仕事にやりがいを持ち、実践を通してスタッフ同士で思いを語り合うことで、仕事に魅力を感じるようになると考えている。仕事にやりがいを持ち、目的意識をもって働くことで、何かトラブルが発生しても、そこから逃げることなく頑張ろうと思う原動力になる。

写真３　手術看護認定看護師による講義

写真４　今年度入職者による器械出しの学習

厚生労働省雇用開発部雇用開発企画課において「働きやすい・働きがいのある職場づくり」プロジェクト企画委員会が設置された。平成26年度５月雇用管理制度等の実施状況と、「働きやすさ」「働きがい」との関係などを探るため、人事担当者や職員に対するアンケート調査結果を目にする機会があった。「働きがい」は「自分の意見や希望が受け入れられる」「自分の仕事の意義や重要性に対して説明がなされる」といった「自己効力感」が充足されるような雇用管理がなされた場合に高まる傾向があり、「働きやすさ」は「自己効力感」に加え、「相談できる体制」や「福利厚生」に関する雇用管理がなされた場合に高まる傾向があるとあった。

「働きがい」や「働きやすさ」がある職場は、スタッフの仕事に対する意欲が高く、職場への

定着が進みやすい傾向があり、さらに、施設の業績も高い傾向にある。我が手術部のスタッフの活動をみると働きがいを持ちながら看護を実践していると感じられる。私にとって手術部のスタッフは自慢のスタッフである。

そして看護師長として、スタッフと良い関係を保つために私が毎日意識していることは、現状を維持、向上することを念頭に置き、少しの変化も見逃さず必ずスタッフに声をかけ、テレビ番組の話など、些細なことでも対話することである。特にほめ言葉を伝えるように意識している。いつでもどこでも口にすることができる無限の資源である。感謝の言葉や誠実なほめ言葉は、相手だけでなく自分も前向きな気分になれる。そうすることでスタッフは、「自分を見て、応援してくれている」という感覚が生まれる。そして、モチベーションもアップすることができ仕事も前向きに取り組むことができる。

看護師という職業を選んだこと、看護できるという喜びをスタッフにも感じてもらうことで毎日を楽しく過ごせるはずである。これからも自分の経験や多くの情報を提供し、スタッフの気持ちを大事にしていきたいと考えている。

これからも毎日が満足できることを目標に、スタッフと充実した時を共有していきたい。

写真５
手術部スタッフ集合写真

各種委員会の紹介 No.2

福岡県病院協会看護委員会の活動について

看護委員会　副委員長
（公立学校共済組合 九州中央病院　看護部長）原田 喜代子

福岡県病院協会は、事業として、医療従事者の資質向上を図るための研修会等を開催しています。その研修会等を企画、実施するための委員会の一つとして看護委員会があり、福岡県内の病院の看護職員の皆様を対象に研修を行っています。

委員は、担当理事の2名の先生方と、4大学病院の看護部長、公的病院からの看護部長3名以上、民間病院からの看護部長3名以上で構成するとなっており、事務局の支援のもと運営しています。委員長と副委員長は任期制で、委員長は大学病院の看護部長の方々が担当されます。平成27年4月1日現在の委員は表1の通りです。

委員会は、年2回、4月と1月に開催しています。年度初めは、新委員の紹介で始まり、年間4回開催する研修の計画や協議事項を話し合います。研修は、当番病院の企画を基に、看護職員のニーズを捉えているか、限られた予算の中でどのような講師を招聘するか、会場の利便性はどうか等を検討します。2回目は、年度の研修会の実施状況、アンケート結果等の報告を行います。

研修会は、大学病院が単独で担当する場合と、公的病院が一緒に担当する場合がありますが、研修会場の決定、講師交渉、当日の受付や会場設営、司会・進行、アンケートの集計等を行っています。平成26年度までに開催した研

表1　看護委員会担当者一覧

役名	氏名	病院名	職名
担当理事	寺坂　禮治	福岡赤十字病院	院長
担当理事	島　　弘志	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院	院長
委員長	濱田　正美	九州大学病院	看護部長
副委員長	原田喜代子	公立学校共済組合九州中央病院	看護部長
委員	中川　朋子	福岡大学病院	副院長・看護部長
委員	野田　順子	久留米大学病院	副院長・看護部長
委員	長野　裕子	産業医科大学病院	副院長・看護部長
委員	木下香代子	公立八女総合病院	看護部長
委員	松永由紀子	福岡赤十字病院	看護部長
委員	柳迫　昌美	医療法人原三信病院	看護部長
委員	須藤久美子	株式会社麻生飯塚病院	副院長・看護部長
委員	中島　成子	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院	副院長・看護部長
委員	坂本　弘子	社会医療法人製鉄記念八幡病院	副院長・看護部長

修は141回に及びますが、平成26年度に開催した研修を表2にまとめました。平成27年度も、在宅医療や認知症などに関する研修を予定していますので、どうぞ、ご参加ください。

表2　平成26年度の研修会と参加状況

日　時	演　　題	講　　師	参加者数
平成26年 6月24日	基調講演 新看護方式　パートナーシップ・ ナーシングシステム　パートⅢ	福井大学医学部付属病院 副院長・看護部長　橘幸子 看護師長　上山香代子	615名
	シンポジューム PNS実践報告	福岡赤十字病院 看護師長　金尾由紀 福岡大学病院 副看護部長　草野ひとみ	
平成26年 8月6日	働きやすい職場づくり どんなことがパワーハラスメント⁉	社会保険労務士渡辺事務所 社会保険労務士　渡邊一郎	259名
	イライラしない自分になれる 『怒りのマネジメント術』 ～怒りの連鎖を断ち切ろう～	佐賀大学大学院医学研究院医学系研究科 博士課程 一般社団法人日本アンガーマネジメント 協会公認シニアファシリテーター 白井ひろ子	
平成26年 10月20日	認知症高齢者の理解とケア ～認知症認定看護師の活動を通して～	福岡大学病院 認知症認定看護師　岩本知恵美	347名
	急性期病院におけるせん妄 ～認知症とせん妄の違いとケア	福岡大学病院 集中ケア認定看護師　林　晶	
	認知症ケア連携体制の構築 ～地域でどのような支えを必要としているのか～	特定非営利活動法人認知症の人とみんなのサポートサンター 代表　沖田裕子	
平成26年 12月5日	職員のITリテラシーについて ～あなたは情報に関連したリスク管理ができていますか～ ＜大学間連携協同教育推進自供の啓発活動として＞	久留米大学バイオ統計センター講師 宮本貴宣	124名
	看護職としての社会人基礎力の育て方	聖マリアンナ医科大学 統括看護部長 ナースサポートセンター長　高橋恵	

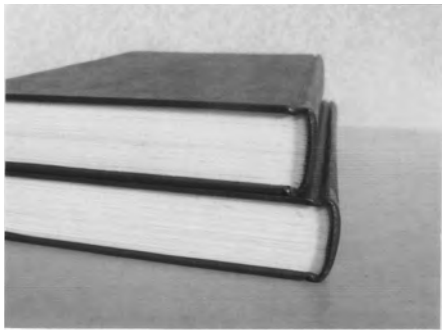
アルファベットと遊ぶ

元 医療法人 誠十字病院
平衡神経科　医師　安田　宏一

アルファベットの大文字を、品物にみたててみました。

A　：　白川郷の合掌造り
B　：　ハードカバーの本が２冊
C　：　コーヒーカップの持ち手
D　：　ケーキを半分わけ
E　：　二階建て
F　：　鯉のぼり
G　：　三日月に天使が坐る
H　：　ラグビーのゴール・ポスト
I　：　オードリー・ヘップバーン
J　：　ライオンのしっぽ
K　：　ボクシングのかまえ
L　：　電柱とその影
M　：　トランポリン
N　：　ボールがワンバウンド
O　：　起き上がり小法師
P　：　フェンシングの剣
Q　：　しっぽを巻いて逃げる
R　：　一歩踏み出す
S　：　蛇が行く
T　：　竹とんぼ
U　：　落とし穴
V　：　コーヒーのフィルター
W　：　たらちねの母
X　：　駐停車禁止
Y　：　カクテルグラス
Z　：　正座でご挨拶

A：白川郷の合掌造り



B：ハードカバーの本が２冊

C：コーヒーカップの持ち手

神話の心理学

国立病院機構 九州医療センター　名誉院長
学校法人原学園 原看護専門学校　学 校 長　朔　元 則

夜の女王コンプレックス？

先月のLetterではギリシャ悲劇の代表作ソポクレスの「オイディプス王物語」を紹介し、エディプス　コンプレックスについて書かせていただいた。全く偶然のことであるが、そのLetterを執筆中の5月29日付の毎日新聞夕刊の特集ワイドにおいて、「母娘冷戦の深い闇」というテーマで特集記事が掲載されているのに出くわした。夕刊第2頁のほぼ全面を使用してのその特集記事の内容は、「現在の日本で問題となっているのは父親と息子の葛藤ではなく母親と娘の葛藤である」というものであった。

20世紀初頭、オーストリアの精神分析学者フロイトによって提唱されたエディプス　コンプレックスは、その名前のユニークさもあって、今や一般にも広く知られるようになっている。しかしエディプス　コンプレックスは父権が強いキリスト教の影響下にある（イスラム教国では父権は更に絶大である）社会において提唱された学説である。母権が強い日本（キリストに対抗して天照大神を持ち出すほどの気持ちはないが、一般の家庭環境においては母親の影響が強いという意味である）では少しニュアンスが変わって来ても全く不思議ではないであろう。

フロイトがエディプス　コンプレックスを提唱して間もなく、東北帝国大学の古沢平作（こさわへいさく）助教授（1897～1968）は父・息子だけでなく、母・息子の関係も同等に大切ではないかとフロイトに書き送っている。古沢はこの説を仏教経典において語られている「阿闍世（あじゃせ）物語」から（フロイトがギリシャ神話から学説のタイトルを採用したことに対抗したものであろう…）阿闍世コンプレックスと名付けて世に問うたのであるが、残念ながら殆ど取り上げられなかった。

女児が父親に対して強い独占欲的な愛情を抱く現象は、フロイトと並び称される深層心理学者ユング（Carl Gustav Jung, 1875～1961）によって、エレクトラ　コンプレックスと名付けられ発表されているが、新聞記事にあったような母親が娘に対して頂く強い独占欲から起こってくる葛藤については、○○コンプレックスというような学説は未だ提唱されていないように思う。しかし今後、日本でもシングル マザーの家庭が増えてくると大きな問題になってくるのかも知れない。新聞では小島慶子著の解縛（新潮社、近刊）を紹介していたが、私はその原型をギリシャ神話のデメテルとペルセポネの物語に求めても良いのではないかと思っている。モーツァルトの有名な歌劇「魔笛」に登場するヒロインのパミーナと夜の女王の関係もこれと同じではないだろうか。

母と娘の葛藤、デメテル　コンプレックスあるいは夜の女王コンプレックスとでも名付けて発表するとインパクトがあって面白いかも知れない。

神話というもの

「神話など古くさくて訳がわからない話ばかりである。教養として知っておくことは必要かも知れないが、実際には何の役にも立たない…」こう思っておられる方が読者の大多数であろう。私も実は最近までそう思っていた。しかしユングは人間存在のもっとも根源的なことは神話の中に語られていると論じている。彼は「お前はいかなる神話によって生きているのか？　お前の神話は何か？」と常に問いかけていたそうである。

我が国におけるユング心理学の泰斗、京都大学名誉教授で文化庁長官を務められた故河合隼雄氏は「人間の深層心理というものは、勿論個人個人

で異なるものであるが、一定の普遍性も持っているものでもある。その普遍性はひとつの家族内に留まっている場合もあるが、ひとつの地域あるいは民族という範囲にまで拡がる場合もある。神話というものは、広い範囲で普遍性をもった人間の深層心理が伝承され、記録されて成立したものなのではないだろうか…。従って神話を学ぶことは生きるための知恵を学ぶことでもある」と語っておられる（河合隼雄、連続講演、ユングの心理学、アートデイズ社、2010 年刊）。

また著名な神話学者キャンベル（Joseph Campbell, 1904 ～ 1967）は、神話が背負っている主要な課題のひとつが、人間が生きていくための冷酷な前提条件（即ち生きるために他の生命体の命を奪うということ）と知性との間に折り合いをつけることであると述べている（神話の力、飛田茂雄訳、早川書房 1992 年刊）。

東西神話の相似性

このような深層心理の普遍性あるいはキャンベルの視点から神話について考えると、東洋と西洋の違いはあっても神話の内容が世界各国で極めて似ていることにも納得がいく。阿闍世物語の詳細は御紹介しなかったが、この物語のキィポイントもオイディプス王物語と同じ様に神託である。

皆様よく御存知の浦島太郎伝説とパンドラの箱の物語も、「開けてはいけません…」と禁じられていた箱の蓋を開いて大変なことになる点で全く同じであるし、火傷を負って死んだイザナミに会うために黄泉の国へ赴いたイザナギと、蛇に咬まれて死んだ妻のエウリュディケを取り返すために冥府の王ハデスの許に交渉に行ったオルペウスの物語は、ともに「振り返ってはいけない…」という禁を犯して救出に失敗する点で全く同じである。

古事記とギリシャ神話では成立時期に大きな差があるので、「古事記の作者達がギリシャ神話を知っていた？」という極めて大胆な推論も成立しないでもないが、私はそのようには思っていない。神話の成立が人間心理の深層に深く根ざしたものであるからこそ、このような東西神話の相似性が生まれてくるのであろう。ダメと言われたら益々やりたくなるのは洋の東西を問わずヒトの本性という点で全く同じであると考えている。

「死者を振り返ってはいけない」というイザナギとオルペウスに課された命題は、「死者は腐敗するものであるという生物学的事実を教えるために作られたものなのであるのかも知れない…」などなど私は勝手に想像して楽しんでいる。神話の世界は考えれば考えるほど、想像の翼が拡がっていって興味深い。

ジジバカ　シンドローム

この 5 月に 6 歳になったばかりの孫娘が我が家に遊びに来た時の話である。「大きくなったらどんな人と結婚したい？」と尋ねてみた。間髪を入れず返って来たのは「パパと結婚したい」という返事であった。ひょんなことからエレクトラ　コンプレックスを実体験することが出来た。

最近幼稚園で流行しているのか、孫娘は我が家に遊びに来る度に謎かけ問答を仕掛けてくる。私達も子供の頃よく聞かされた「一休さんのとんち問答」から、自分で勝手に考えた極めて難解な問題などいろいろである。私はその度に、スフィンクスがオイディプスと交わした謎かけ問答でお返ししている。将来この子が成人してオイディプス王物語を読んだ時に、「祖父はいつもこのスフィンクスの謎かけ問答で遊んでくれたなぁ」と思い出して欲しいからである。エディプス　コンプレックスならぬジジバカ　シンドロームとでも言っておこうか…。

最後に小さなお子（孫）様をお持ちの読者の方々のために、有名なスフィンクスの謎かけ問答を岩波文庫の藤沢令夫氏の訳から引用しておこう。

一つの声を持ち、二つ足にしてまた四つ足にしてまた三つ足なるものが地上にいる。地を這い空を飛び海を泳ぐものどものうち、これほど姿・背丈を変えるものはない。それがもっとも多くの足に支えられて歩く時に、その肢体の力はもっとも弱く、その速さはもっとも遅い。

皆様スフィンクスに殺されないようによく考えてみて下さい。

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯
患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable

理事長 **陣 内 重 三**

専務理事	吉松 秀則	理 事	佐田 正之
理 事	原 寛	監 事	牟田 和男
理 事	武田 正勝	監 事	津留 英智
理 事	江頭 啓介	事務局長	小野 裕三

〒 811-2502　糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 ／ FAX 092-976-2247

おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

福岡県精神科病院協同組合

理事長 冨松 愈

〒810-0005　福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F
TEL092-521-0690／FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする
福岡県精神科病院協同組合100％出資会社

有限会社 DMS（ドリーム・メディカル・サービス）

〒810-0005　福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F
TEL092-525-7666・7667／FAX092-525-7668

『山登りの楽しさ』

医療法人 成晴会
堤病院
事務長
佐藤 正典

学生時代、体育会ワンダーフォーゲル部に所属し、毎月１回の山行を楽しみました。

大分県は、自然に恵まれており、九州本土の最高峰である中岳を有する九重連山、豊後富士の異名を持つ由布岳、湯の街別府の背後にそびえる鶴見岳、宮崎・大分県境には険しい頂を持つ傾山や山腹が原生林に覆われた祖母山等挙げるときりがありません。

小中学生の時剣道の道場に通った以外、高校卒業まで運動らしいことをしたことがない私が、大学受験の赤本で、希望する学部の受験科目よりも課外活動の紹介を熱心に読み、合格前からワンゲルに入部しようと心に決めていました。親元を離れ、入学してすぐにあこがれのワンゲルに入部したものの、現実は厳しく、練習は、受験勉強疲れの１年生には、過酷なものでした。基礎体力作りのランニングは､1年～４年まで２列縦隊で「ファイト、ファイト」と掛け声を出しながら走るもので、脱落は許されません。我々１年生は練習内容を決める３年生トレーナーが、生協で昼食をガッツリ食べているか控え目かを盗み見てその日のランニングコースを推測、覚悟して練習に参加したものでした。

練習以外にも、山行に必要な知識として、気象担当による観天望気やラジオを聴いての天気図作成、医療担当による滑落等により負傷した場合の応急処置、食料担当による栄養価を考えた献立作り等の講習会およびテントやガソリンコンロ等の装備点検も定期的に行われました。

部活動としての山行は、厳しいもので特に１年の初めの頃は辛いことばかりで入部したことを何度も後悔したことを思い出します。山行のパート編成は､3年のパートリーダー1名､2年のサブリーダー１名およびパート員３名の計５名が一般的でした。テントを持って先頭を歩くサブリーダーが、歩くペースを決めますが、初めの頃はついて行くのが精いっぱい、肩に食い込むキスリングの重さに耐えながら、山頂目指してワンピッチ「50分歩いて10分休憩」を繰り返しました。歩く間は、ルート脇の草花や雄大な景色を楽しむ余裕もなく、記憶にあるのは道標と地面のみということが、１年の夏まで続きました。

しかし、厳しい練習に耐えたご褒美か、最大イベントである夏合宿（夏パートワンデリング）では、北アルプス（剣岳・立山三山、後立山、白馬大雪渓､表銀座槍ヶ岳･穂高連峰）の縦走を満喫、奥穂高岳から「穂高よさらば」をパート員全員で合唱しながら上高地へ下ったことを今でも覚えています。

４年で部活を引退後、仲の良い数名と久住山やミヤマキリシマで有名な大船山に度々出かけ四季折々の自然を満喫しましたが、就職してからは、山に登る機会は全くなくなりました。

しかし、数年前大分市に３年間単身赴任した際、同僚に誘われたことがきっかけで近場で日帰りの山登りを経験しました。学生時代は、見向きもせず名前も知らないような山ですが、トリッキーなコースに大変満足しました。福岡に戻ってからは、ご無沙汰していますが、今年は梅雨明けを待って福岡市近郊の山にでも登ろうと、「山歩きの本」を読んで準備している今日この頃です。

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成 27 年 6 月福岡県私設病院協会の動き

◎看護部長会

日　　時　　6月5日（金）午後3時
場　　所　　会議室
議　　題
1. 協議事項
(1) 中堅看護師の離職防止とその対処法について
(2) 情報交換について
(3) 研修会の企画運営について
(4) その他
2. 報告事項
(1) 前回議事録について
(2) 研修会について
(3) 私設病院協会4～5月の動き
(4) その他

◎広報委員会

日　　時　　6月9日（火）午後3時30分
場　　所　　協会事務室
議　　題
1．福私病ニュースの編集について
2．協会ホームページの見直しについて

◎財務委員会

日　　時　　6月9日（火）午後3時30分
場　　所　　会議室
議　　題
1．協会財務のあり方について

◎理事会

日　　時　　6月9日（火）午後4時
場　　所　　会議室
議　　題
1. 会長あいさつ
2. 協議事項
(1) 会員異動について
(2) 研修会について
(3)「地域医療構想策定専門委員会」（仮称）の開催について
(4) 平成27年度急患診療事業に関する意見要望等について
(5) 定時総会の決議・報告事項について
(6) 職員の夏季賞与について
(7) その他
3．報告事項
4．協会及び関係団体事業報告
(1) 私設病院協会5月の動き
(2) 看護学校
(3) 医療関連協業組合
(4) 厚生年金基金
(5) 全日病本部
(6) その他

◎研修会（全日病福岡県支部共催）

日　　時　　平成27年6月26日（金）午後4時
場　　所　　福岡県医師会館研修室
演　　題
「今後の医療介護制度改革について」
～先を見据えた事業戦略を考える～
講　　師　　片岡 佳和 氏
（前厚生労働省老健局総務課長）
参加状況　　62病院　107名

理事会

◎第24回　理事会　報告書

日　時　平成27年6月16日（火）17：00～
場　所　福岡県医師会館 6階 研修室3
　　福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
出席者（敬称略）
　会　長　石橋
　副会長　坂本、竹中
　理　事　上野専務理事、安藤総務理事、平財務理事、津田企画理事、飯田、一宮、江頭、岡留、大塚、小野、壁村、小柳、津留、中山、二宮、深堀、吉村
　監　事　田中、福重、八木
　議　長　岡嶋
　副議長　梅野

Ⅰ　行政等からの通知文書の伝達（安藤総務理事）
ア 平成 27 年 5 月 27 日付け 福岡県保健医療介護部長（保健衛生課）名文書
「『デング熱・チクングニア熱の診療ガイドライン』について」
イ 平成 27 年 6 月 4 日付け福岡県保健医療介護部長（保健衛生課）名文書
「韓国における中東呼吸器症候群（MERS）への対応について」

Ⅱ　公益目的事業関係
1　報告事項
⑴ 各種委員会・研修会関係
【開催予定】
ア 第 142 回看護研修会
（担当理事欠席のため上野専務理事）
日　時　平成 27 年 6 月 10 日（水）9：50～
場　所　九州大学医学部百年講堂
　　大ホール
テーマ「人間関係･コミュニケーション･コーチング」
講演「医療現場における人を活かして伸ばすコミュニケーション」
～人を大きく変化させるパラダイムシフト・コーチング～
講師 岸事務所 代表 岸 英光 氏
（エグゼクティブコーチ）
※ 受講者 345 名　受講料収入 1,280,500 円

【開催予定】
ア 第 1 回リハビリテーション委員会
（津留担当理事）
日　時　平成 27 年 7 月 9 日（木）13：30～
場　所　九州大学医学部百年講堂
　　2 階 会議室 1
協議事項
① 平成 26 年度第 2 回リハビリテーション研修会報告
② 平成 27 年度研修計画
　第 1 回リハビリテーション研修会の開催について
③ その他
イ 第 9 回県民公開医療シンポジウム
（小野運営委員長）
日　時　平成 27 年 8 月 1 日（土）
　　14：00 ～ 16：00
場　所　えーるピア久留米
　　久留米市諏訪野町 1830 － 6
テーマ「医と食と～健康被害とアレルギー～」
講演 1「意外に知られていない食物・薬物のアレルギーについて」
講師　久留米大学医学部皮膚科学講座
　　主任教授 名嘉眞 武國 氏
講演 2「食物アレルギーの予防と治療」
講師　福岡市立病院機構 福岡市立こども病院
　　総合診療科 手塚 純一郎 氏
講演 3「知っておきたい機能性表示食品」
講師　久留米保健所 所長 星子 美智子 氏

ウ 第 143 回 看護研修会（上野専務理事）
日　時　平成 27 年 8 月 7 日（金）9：50～
場　所　九州大学医学部百年講堂
　　大ホール
テーマ「パートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）パートⅣ」
Ⅰ 基調講演「新看護方式 PNS の導入と定着に至るまで」
講師　産業医科大学若松病院

看護副部長　安東 睦子 氏

シンポジウム

Ⅱ「PNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）実践報告」

「PNS 導入におけるリーダーへの動機づけと価値判断形成の仕組みづくりの経過報告」

講師 福岡大学筑紫病院
副看護部長 福本 洋美 氏

講師 福岡大学筑紫病院
看護師長（集中ケアセンター）
久保 伸子 氏

「ディパートナーから始める PNS への取り組み」

講師 公立八女総合病院
PNS プロジェクトリーダー
佐伯 佐知子 氏

座長 福岡赤十字病院
看護副部長 山根 理恵子 氏

エ 第 64 回栄養管理研修会（吉村担当理事）

日　時　平成 27 年 8 月 29 日（水）10：25 ～
場　所　九州大学病院講義棟
4 階 臨床大講堂

テーマ「高齢者の栄養管理：糖尿病・認知症・死亡原因の第 1 位であるがん」

講演Ⅰ「糖尿病合併症の時代的変遷：久山町研究」
講師　九州大学大学院医学研究院
環境医学分野 教授 清原 裕 氏

講演Ⅱ「サルコペニアとリハビリテーション」
講師　久留米大学整形外科講座
主任教授 志破 直人 氏

講演Ⅲ「がん悪液質と栄養」
講師　九州大学大学院医学研究院
准教授 髙山 浩一 氏

講演Ⅳ「糖尿病と認知症」
講師　福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科
准教授 野見山 崇 氏

Ⅲ　法人事務等関係

1　報告事項

(1) 各種委員会関係

【開催結果】

ア 第 3 回 ほすぴたる編集委員会
（岡嶋編集委員長）

日　時　平成 27 年 6 月 16 日（火）16：45 ～
場　所　福岡県医師会館 6 階 研修室 3
協議事項
① 7 月号の現況について
② 8 月号、9 月号の編集計画
③ その他

(2)「第 23 回理事会」の議事録について
（上野専務理事）

(3)「地域医療構想策定」に係る私設病院協会との合同会議について（上野専務理事）

・6 月 9 日（火）18：00 から、福岡県医師会館にて開催
・私病協からは、陣内会長、杉副会長、津留専務理事が出席。当協会からは、竹中副会長、上野専務理事、平財務理事、津田企画理事が出席。
・合同会議の名称は、「地域医療構想合同研究会」と決定。
・次回開催は、7 月 14 日（火）18：00 から、県医師会館研修室を予定。

2　協議事項

(1) 第 3 回定時会員総会について
（上野専務理事）

追加議案　第 4 号議案　参与の委嘱について

・現参与（9 名）は、6 月末で任期満了。参与の委嘱は会員総会の承認が必要。
・議案については特に意見等はなく、理事会終了後開催予定の「第 3 回定時会員総会」に提案することが承認された。

(2)　病院長交代に伴う入会申込みについて
（上野専務理事）

・福岡徳洲会病院　海江田令次 新院長（5/1 就任。前院長 中熊秀喜 先生）
・海江田院長は前々院長であり、特に問題はなく承認された。

(3) 第 9 回県民公開医療シンポジウムについて
（小野運営委員長）

・開催当日の受付等に係る支援病院について、久留米大学病院、聖マリア病院、

公立八女総合病院に各3名の応援を提案され、承認された。

・プログラム広告掲載申込み病院等（報告）

6月15日現在、30病院から申込みがあり、お礼を述べられた。

・協賛企業からのサンプルの提供及び展示について

関係企業と調整してきたが、五役会での協議の結果、取り止めることになった。

・アンケート（案）については特に意見はなく承認された。

⑷「地域医療構想策定」に係る私設病院協会との合同会議について（上野専務理事）

・専務理事の導入を受けて、津留理事からの国や県の動向等の状況報告及び津田理事からの県の説明に関する報告とともに、竹中副会長からの補足説明に加えて岡留理事が意見を述べられた。

・県や県医師会には、厚労省から既にデータが送られている。データ解析の問題もあり、今後は病院団体（当協会、私設病院協会）と県医師会が情報を共有して県との協議を進めていく必要があることを諮られたところ、特に異議はなく承認された。

⑸「医療事故調査制度」への対応について（上野専務理事）

・専務から、第3者機関にどこがなるか混沌とした状態であることの報告と、岡留理事からの意見に関連して福岡県医師会方式が評価されている点の説明があった。また各役員に対して、重要な初期対応を担う「かかりつけ医」の推薦を依頼された。

⑹「専門医研修制度」への対応について（上野専務理事）

・大学内部の協議について、田村副会長から福大の状況が、会長から九大の状況が報告され、いずれも調整が続けられる旨の説明があった。

・安藤理事から「専門医機構」に関しての質問があり、会長から回答、説明があった。また、専務理事から国立病院機構の状況について報告され、今後の情報共有を要請された。

3　その他【開催予定】（上野専務理事）

⑴ 平成27年6月

ア 第3回定時会員総会

日時　平成27年6月16日（火）18：00～

場所　福岡県医師会館6階 研修室3

⑵ 平成27年7月

ア 第1回医療事務委員会（大塚担当理事）

日時　平成27年7月2日（木）17：00～

場所　中央区渡辺通2丁目「大名やぶれかぶれ」

協議事項

① 委員の交代について

② 第115回医療事務研究会の開催について

③ その他

イ 第2回 地域医療構想合同研究会

日時　平成27年7月14日（火）18：00～

場所　福岡県医師会館6階 研修室4

ウ ほすぴたる編集委員会・理事会

日時　平成27年7月28日（火）

①15：45～　ほすぴたる編集委員会

②16：00～　理事会

場所　九州大学医学部百年講堂 中ホール3

⑶ 平成27年8月

ア 九州大学伊都キャンパス視察・役員納涼会

日時　平成27年8月18日（火）

①17：00～ ほすぴたる編集委員会

②17：20～ キャンパス視察

③18：00～ 役員納涼会（会費8,000円）

場所　未　定

⑷ 平成27年9月

ア ほすぴたる編集委員会・理事会

日時　平成27年9月29日（火）

①16：45～　ほすぴたる編集委員会

②17：00～　理事会

場所　未　定

4　最近の医療情勢について

時間切れのため割愛された。

九州大学病院

病院長 石橋達朗

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話（092）641-1151　FAX（092）642-5008
URL http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp

医療法人 佐田厚生会
佐田病院

理事長
院長 佐田正之

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通2丁目4番28号
電話（092）781-6381　FAX（092）724-9411
E-mail:info@sada.or.jp

医療法人社団 福光会
福田眼科病院

理事長 福田量
院長 江島哲至

〒814-0013
福岡市早良区藤崎1丁目24番1号
電話（092）841-2345　FAX（092）841-2649
URL http://www.fukudaganka.jp

独立行政法人 国立病院機構
九州医療センター

院長 村中光

〒810-8563
福岡市中央区地行浜1-8-1
電話（092）852-0700　FAX（092）847-8802
URL http://www.kyumed.jp

独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

院 長 上 野 道 雄

〒 811-3195
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号
電 話 (092)943-2331　FAX (092)943-8775
E-mail:shomu@fukuokae2.hosp.go.jp

地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福 岡 市 民 病 院

院 長 竹 中 賢 治

〒 812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号
電 話 (092)632-1111　FAX (092)632-0900
E-mail:shiminbyoin@fcho.jp
URL http://www.fcho.jp/shiminhp

医療法人
つ く し 会 病 院

理事長 中 村 奎 吾
院 長 脇 坂 愛 次 郎

〒 816-0902
福岡県大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号
電 話 (092)503-2261　FAX (092)503-2474

医療法人 森和会
行 橋 中 央 病 院

理事長 山 内 照 章
院 長 梅 田 文 夫

〒 824-0031
福岡県行橋市西宮市 5 丁目 5 番 42 号
電 話 (0930)26-7111　FAX (0930)26-7112
E-mail:ych21@peace.ocn.ne.jp

医療法人社団 江頭会
さ く ら 病 院

理事長
院 長 江 頭 啓 介

〒 814-0142
福岡市城南区片江 4 丁目 16 番 15 号
電 話 (092)864-1212　FAX (092)865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp

国家公務員共済組合連合会
千 早 病 院

院 長 明 石 良 夫

〒 813-8501
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号
電 話 (092)661-2211　FAX (092)683-0411
E-mail:chihaya@chihaya-hp.jp

医療法人 清和会

長　田　病　院

理事長　長　田　英　輔
院　長　木　下　正　治

〒 832-0059
福岡県柳川市下宮永町 523 番地 1
電 話（0944）72-3501　FAX（0944）72-5027
E-mail:nagatahp@smile.ocn.ne.jp

国家公務員共済組合連合会

浜　の　町　病　院

院　長　一　宮　　仁

〒 810-8539
福岡市中央区長浜三丁目三番一号
電 話（092）721-0831　FAX（092）714-3262
E-mail:info@hamanomachi.jp
URL http://www.hamanomachi.jp

社会福祉法人 恩賜財団 済生会

済生会福岡総合病院

院　長　岡　留　健　一　郎

〒 810-0001
福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号
電 話（092）771-8151　FAX（092）716-0185
URL http://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

社会福祉法人 恩賜財団 済生会

福　岡　県　済　生　会
飯　塚　嘉　穂　病　院

院　長　迫　　康　博

〒 820-0076
福岡県飯塚市太郎丸 265
電 話（0948）22-3740　FAX（0948）29-1987
E-mail:soumu@iizuka-kaho.jp

社会医療法人 喜悦会

那　珂　川　病　院

理事長　井　上　史　子
院　長　下　川　敏　弘

〒 811-1345
福岡市南区向新町 2 丁目 17-17
電 話（092）565-3531　FAX（092）566-6460
E-mail:mail@nakagawa-hp.com

医療法人社団 筑山会

松　岡　病　院

理事長
院　長　松　岡　嘉　宣

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電 話（0948）52-1105　FAX（0948）52-1926

医療法人 博愛会

京都（みやこ）病院

院長 岡松秀一

〒824-0811
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田298番地
電話（0930）32-2711　FAX（0930）32-2848
E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp

宗像医師会病院

院長 大塚毅

〒811-3431
福岡県宗像市田熊5丁目5番3号
電話（0940）37-1188　FAX（0940）37-0016
URL http://www.mmah.jp

国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

院長 渋谷恒文

〒803-8505
北九州市小倉北区金田1丁目3番1号
電話（093）571-1031　FAX（093）591-0553
E-mail:shinkokura@shin-kokura.gr.jp
URL http://www.shin-kokura.gr.jp

医療法人社団 水光会

宗像水光会総合病院

理事長 津留英智
院長 田山慶一郎

〒811-3298
福岡県福津市日蒔野5丁目7番地の1
電話（0940）34-3111　FAX（0940）43-5981
E-mail:hosp@suikokai.or.jp

医療法人社団 益豊会

今宿病院

理事長
院長 深堀元文

〒819-0167　福岡市西区今宿2丁目12番7号
電話（092）806-0070　FAX（092）806-4417
E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp

【関連施設】**博多祇園メンタルクリニック**
〒812-0038　福岡市博多区祇園町4番61号
FORECAST博多祇園3階
電話（092）262-6161　FAX（092）262-6162

日本医療機能評価機構認定病院
救急病院　指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長
院長 杉健三

〒837-0916
福岡県大牟田市大字田隈950-1
電話（0944）56-1119　FAX（0944）56-2077
E-mail:info@sugi-hosp.jp
URL http://www.sugi-hosp.jp

医療法人 碧水会
門司田野浦病院

理事長 西内哲教
院　長 泉　　太

〒801-0803
北九州市門司区大字田野浦 1018 の 1
電 話 (093)331-0800　FAX (093)331-0801
E-mail:tanoura@fukuoka.email.ne.jp

医療法人 井上会
篠栗病院

理事長 陣内重三

〒811-2413
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 94 番地
電 話 (092)947-0711　FAX (092)947-0715
E-mail:info@sasaguri.or.jp
URL http://www.sasaguri.or.jp

独立行政法人 地域医療機能推進機構
九州病院

院　長 多治見司

〒806-8501
北九州市八幡西区岸の浦一丁目 8 番 1 号
電 話 (093)641-5111　FAX (093)642-1868
URL http://kyusyu.jcho.go.jp

一般財団法人 医療・介護・教育研究財団
柳川病院

院　長 於保和彦

〒832-0077
福岡県柳川市筑紫町 29 番地
電 話 (0944)72-6171　FAX (0944)72-2092
URL http://www.yanagawa-hsp.jp

医療法人 永聖会
松田病院

理事長
院　長 松田峻一良

〒812-0053
福岡市東区箱崎 2 丁目 10 番 2 号
電 話 (092)651-0522　FAX (092)651-5793
URL http://www.matsuda-hospital.jp

救急告示・開放型病院
特定医療法人 八木厚生会
八木病院

理事長
院　長 八木博司

〒812-0054
福岡市東区馬出 2 丁目 21 番 25 号
電 話 (092)651-0022　FAX (092)631-1919
URL http://www.yagi.or.jp

福岡赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

院　長　**寺　坂　禮　治**

〒 815-8555
福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号
電 話（092）521-1211　FAX（092）522-3066

医療法人 成雅会

泰　平　病　院

理事長
院　長　**堤　　康　雅**

〒 811-2111
福岡県糟屋郡須恵町大字新原 14-7
電 話（092）932-5881　FAX（092）934-0045
E-mail:jimu@taihei.or.jp

医療法人 済世会

河　野　病　院

理事長　**河　野　正　美**
院　長　**今　泉　暢　登　志**

〒 811-2413
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139
電 話（092）947-0611　FAX（092）947-8598
E-mail:info@kawano-hp.com

久留米大学病院

病院長　**坂　本　照　夫**

〒 830-0011
福岡県久留米市旭町 67 番地
電 話（0942）35-3311　FAX（0942）32-6278
URL http://www.hosp.kurume-u.ac.jp

公益財団法人 健和会

健和会大手町病院

院　長　**西　中　徳　治**

〒 803-8543
北九州市小倉北区大手町 15 番 1 号
電 話（093）592-5511　FAX（093）592-2726

福　岡　逓　信　病　院

院　長　**津　田　泰　夫**
副院長　**和　田　寛　也**

〒 810-8798
福岡市中央区薬院二丁目 6 番 11 号
電 話（092）741-0300　FAX（092）781-2563
E-mail:fteisin@f-teisinhp.jp
URL http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka

創立 60 周年

日本医療機能評価機構認定病院
救急告示・開放型　臨床研修病院指定

医療法人
西福岡病院

理事長　安藤文英
院　長　中垣　充

〒 819-8555
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
電 話（092）881-1331　FAX（092）881-1333
E-mail:jim@nishifukuhp.or.jp
URL http://www.nishifukuhp.or.jp

飯塚病院

院　長　増本陽秀

〒 820-8505
福岡県飯塚市芳雄町 3 番 83 号
電 話（0948）22-3800　FAX（0948）29-5744
URL http://aih-net.com

早良病院

院　長　梅野守男

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜二丁目 2 番 50 号
電 話（092）881-0536　FAX（092）883-8761
URL http://www.sawara-hp.jp

医療法人 徳洲会
福岡徳洲会病院

院　長　海江田令次

〒 816-0864
福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地
TEL（092）573-6622　FAX（092）573-1733
E-mail:ftokushu@csf.ne.jp
URL http://www.f-toku.jp

社会医療法人 雪の聖母会

理事長　井手　義雄

聖マリア病院

病院長　島　弘志

〒 830-8543　福岡県久留米市津福本町 422
電 話（0942）35-3322　FAX（0942）34-3115

聖マリアヘルスケアセンター

病院長　井手　睦

〒 830-0047　福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電 話（0942）35-5522　FAX（0942）31-3216

地域がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
公立八女総合病院

企業長　小野典之

〒 834-0034
福岡県八女市高塚 540 番地 2
電 話（0943）23-4131　FAX（0943）22-3185
E-mail:yame-general@yamehp.jp

医療法人

原　三　信　病　院

理事長　平　　祐　二
院　長

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 番 8 号
電 話（092）291-3434　FAX（092）291-3424
URL http://www.harasanshin.or.jp

社会医療法人財団 池友会

福 岡 和 白 病 院

理事長　蒲　池　眞　澄
院　長　富　永　隆　治

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2 丁目 2-75
電 話（092）608-0001　FAX（092）607-3051
E-mail:info@f-wajirohp.jp
URL http://www.f-wajirohp.jp

田 川 市 立 病 院

田川市病院事業管理者　齋　藤　貴　生
病　院　長　鴻　江　俊　治

〒 825-8567
福岡県田川市大字糒 1700 番地 2
電 話（0947）44-2100　FAX（0947）45-0715
E-mail:shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp
URL http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp

＊掲載は受付順にさせていただきました。

機関誌「ほすぴたる」広告料金表

区分	記表中			表　紙			
	1 頁	1/2 頁	1/3 頁	表 2（1/2 頁）	表 3（1/3 頁）	表 4	
						（1/2 頁）	（1 頁）
1 月分	15,000 円	8,000 円	7,000 円	10,000 円	9,000 円	11,000 円	20,000 円
半年分 5%引	85,500 円	45,600 円	39,900 円	57,000 円	51,300 円	62,700 円	114,000 円
1 年分 10%引	162,000 円	86,400 円	75,600 円	108,000 円	97,200 円	118,800 円	216,000 円

投稿募集

ほすぴたる誌読者の皆さんの作品を募集します。

写真、エッセイ、俳句、和歌、ニュースなどふるって
ご投稿ください。FAX・E メールで募集いたします。
多数の応募をお待ちしています。

投稿規定
内　容　ご随意
字　数　標題などを含んで 1 頁 1,300 字程度
　　又は 2 頁 2,900 字程度
　　＊ご近影 1 枚も併せてお願いします

送 付 先
〒 812−0016
福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡メディカルセンター 2F
公益社団法人 福岡県病院協会
TEL　092−436−2312
FAX　092−436−2313
E-mail : fukukoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

「ほすぴたる」7月号をお届けします。

今月号もすばらしい内容の原稿を多数お届けいただき、大変充実した誌面となりました。ご寄稿いただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

さて、今月の編集後記は、編集委員長の職権を乱用しまして、私事に終始する内容とさせていただきました。他に書く材料が見当たらないこともあります。題して「二都（にと）物語の終焉」。私はこの7月末を持ちまして小倉医療センターを退職いたします。福岡市に住み、小倉まで毎日新幹線通勤をしましたが、福岡県にある2大都市を行き来した経験は大変興味深いものでした。九州で一極集中的に繁栄を築く福岡市と、人口が減りつつもその歴史と伝統を守ろうとする北九州市、ともに味わい深い街と言えるでしょう。小笠原の城下町であった小倉は、独特の情緒、雰囲気をもっています。芸術、食文化にも、博多にまさるとも劣らないすばらしいものがあります。いくつもの名のある老舗が妥協せずにしっかりとお店を守っており、アーケード街もシャッター街にならずにぎわっています。市民の皆さんが小倉の文化を大切に守っている姿に感銘をおぼえます。小倉の良さと、博多の良さを両方味わえる私の「二都（にと）物語」は7月いっぱいで終わりになります。長距離の通勤から解放される安堵感と、寂しさとが交錯し、残された通勤時間はセンティメンタル　ジャーニーになることでしょう。小倉医療センターでは、これも院長の職権を乱用し、年4回、患者さん向けの院内コンサートを開催しておりました。病院内外のプロ、アマを問わずいろいろな方にご出演いただき、私もちゃっかり共演させていただきました。コンサートの翌日病棟に行くと、高齢の患者さんが、「うたのセンセ、夕べはありがと」などと声をかけてくれます。コンサートで癒されるのは、患者さんよりむしろ私の方なのです。患者さんや職員の楽しみの一つとなったこのコンサートは、私が辞めても終焉とならず、続けていただきたいと思っています。

ということで、今月号の編集後記は自分のことばかり書いてしまい、失礼いたしました。医療関係のことも書こうと思いましたが、今回はやめました。「二兎（にと）を追うものは一兎をも得ず」。

（岡嶋 泰一郎 著）

ほすぴたる　第690号

平成27年7月20日発行

発　行　◎（公社）福岡県病院協会
〒812－0016　福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092－436－2312／FAX092－436－2313
E-mail：fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編集発行人　◎（公社）福岡県病院協会

制　作　◎（株）梓　書　院
〒812－0044　福岡市博多区千代3－2－1
麻生ハウス 3F
TEL092－643－7075／FAX092－643－7095
E-mail：mail@azusashoin.com

編 集 主 幹…石橋　達朗
編集委員長…岡嶋泰一郎
編集副委員長…竹中　賢治
編 集 委 員…上野　道雄・安藤　文英
平　祐二・津田　泰夫
草場　公宏・塚﨑　恵子

平成 27 年 7 月 20 日発行（毎月 20 日発行）通巻 690 号

第9回 県民公開医療シンポジウム

医と食と

～健康被害とアレルギー～

日時　平成27年 8 月 1 日（土）　14:00～16:20　【開場 13:00】

場所　えーるピア久留米

〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町1830-6　TEL:0942-30-7900

入場無料　定員:250名

プログラム

司会：地方独立行政法人 福岡市立病院機構福岡市民病院 看護部長　塚﨑 恵子

1.開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長　石橋 達朗
（九州大学病院 病院長）

2.シンポジウム

【座長】　公益社団法人福岡県病院協会 財務理事　平 祐二
（医療法人原三信病院 理事長・院長）

公益社団法人福岡県病院協会 理事　壁村 哲平
（福岡市医師会成人病センター 院長）

講演1「意外に知られていない食物・薬物のアレルギーについて」
久留米大学医学部皮膚科学講座 主任教授　名嘉眞 武國 先生

講演2「食物アレルギーの予防と治療」
地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院 総合診療科　手塚 純一郎 先生

講演3「知っておきたい機能性表示食品」
久留米市保健所 所長　星子 美智子 先生

3.質疑応答

①質問・疑問・相談（パンフレット裏面）　②質問のコーナー（当日）

【回答者】　シンポジスト 3名

4.閉会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 副会長　坂本 照夫
（久留米大学病院 病院長）

主催：公益社団法人福岡県病院協会

後援：福岡県、久留米市、（公社）福岡県医師会、（公社）福岡県薬剤師会、（公社）福岡県看護協会、（公社）福岡県栄養士会、（公社）福岡県診療放射線技師会、（公社）福岡県理学療法士会、（公社）福岡県作業療法協会、（公財）日本アレルギー協会、（一社）福岡県歯科医師会、（一社）福岡県臨床衛生検査技師会、（一社）久留米医師会、（一社）大牟田医師会、（一社）八女筑後医師会、（一社）朝倉医師会、（一社）小郡三井医師会、（一社）大川三潴医師会、（一社）柳川山門医師会、（一社）浮羽医師会、（一社）福岡県私設病院協会、（一社）福岡県精神科病院協会、（一社）福岡県医療法人協会、（株）西日本新聞社（順不同）

連絡先　公益社団法人福岡県病院協会　TEL:092-436-2312　FAX:092-436-2313
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号　福岡県メディカルセンタービル　2階

（公社）福岡県病院協会とは…　昭和25年に設立され、「病院の経営管理の向上を図り、地域医療の普及向上と、県民の健康増進に寄与すること」を目的に、各種研修会などを実施しています。会員は、県下の4大学病院をはじめ公私の253病院が加入しています。